

キーワードは、

「いち」

いち

秋

淡路島 南あわじ市

南あわじ旬だより

NEWS RELEASE

for media relations

メディア向けニュースリリース

2 0 2 5

AUTUMN

目次

キーワードは「一」。
南あわじ市の“ひとつひとつ”に注目。

ぜひ取材して
リアルな実態を
ご紹介ください！



- 1 サイクリストの“隠れオアシス” 灘黒岩水仙郷は一年中営業中 . . . 4
📌 ーサイクリストが立ち寄りたくなる理由／屋上テラスから見えるのは . . . ?
- 2 一新された観光拠点道の駅うずしお 10月19日(日)リニューアルオープン！ . . . 6
📌 ー観光拠点としてのリニューアルの狙いは？新キャラクターたちにも注目！
- 3 一人ひとり向き合う教育が育む“生きる力” 沼島発・離島留学 . . . 8
📌 ー島で暮らした子どもの変化、そして保護者のリアルな声とは？
- 4 学校を飛び出し、地域へ広がる学び 南あわじ市の挑戦「学ぶ楽しさ」日本一！ . . . 10
📌 ー地域の大人が先生に！？伝統芸能、防災講座、さらにアスリート講演会も！
- 5 新しい一歩を支える制度がある 南あわじ市の移住支援 . . . 12
📌 ー移住の決め手、くらしの変化など . . . 移住者への取材も大歓迎！
- 6 「子育ての喜びが見えるまち」の実現へ 地域一丸で働き方改革に挑戦 . . . 14
📌 ー地域の様子を知る機会から、充実した支援制度、そして起業の夢まで実現！
- 7 一線を描く挑戦 南あわじ市の自走型DX戦略 . . . 16
📌 ーDXによって“職場の空気”がどう変わったか？挑戦する職員たちにフォーカス
- 8 一次産業の魅力を引き出す、島野菜の食体験島 サラダ×ベジスイーツフェア . . . 18
📌 ー地元野菜の魅力が形に！農家とシェフの工夫とは？
- 9 一級品として認定される、淡路島の誇り 幻の和牛『淡路ビーフ』 . . . 20
📌 ー“幻”と呼ばれる理由とは？認定条件を満たすのは一部の但馬牛のみ！
- 10 一粒万倍の可能性を秘めた島生まれのチーズ カチョカヴァロが世界に挑戦！ . . . 21
📌 ー世界大会への挑戦！地元の恵みと職人技がなせる一品、ご賞味あれ！
- 11 畜産と革加工が一枚皮でつなぐ地域循環 淡路島レザーの挑戦 . . . 22
📌 ー畜産と革加工のつながりと、地域循環の仕組みとは？
- 12 海の仕事の一挙一動を学ぶ 淡路島で“本物の漁師体験” . . . 23
📌 ー体験を通じて伝わる漁師の醍醐味！参加者の声もぜひ取材下さい
- 13 一つの旋律が、伝統を呼び覚ます 『戎～nextstage～』 . . . 24
📌 ー若者が伝統芸能に関わる様子、道具にも拘る舞台づくりの裏側とは？
- 14 一途な志が、未来を動かす 淡路人形座、後継者と舞台へ . . . 25
📌 ー後継者の育成と舞台への思い、継承の現場とは？
- 15 五感がよるこぶ特別な一日 淡路ファームパークイングランドの丘 . . . 26
📌 ー動物とのふれあいや収穫体験が満載！都市部のファミリーにとっての“非日常”がここに
- 16 一巡で、南あわじの魅力がほどける 無料周遊バス「UZULOOP」 . . . 28
📌 ー新たな周遊バスが結ぶ地域の魅力って？利用者の声は？
- 17 快挙 南あわじ市の取り組みが「GenAI HR Awards 2025」でグランプリ . . . 32
📌 ー全国からの自治体として唯一選ばれた南あわじ市の取り組みの独自性と先進性とは？
- 18 キーワードは「一」 番外編 キーワードは「市」！？ . . . 32
📌 ー「市」が三つ並ぶ地名！？その背景に歴史あり

話題の場所は
ココ

南あわじ市全域

- 学ぶ楽しさ日本一 P.10
- 移住支援 P.12
- 子育て応援コンソーシアム P.14
- 淡路島レザー P.22
- 漁師体験（灘・丸山・沼島） P.23
- UZU LOOP P.28

南あわじ市

淡路市

兵庫県
淡路島

洲本市

**道の駅
うずしお**
リニューアルオープン
P.6

南あわじ
市役所
DX
P.16

**イングラ
ンドの丘**
P.26

南あわじ
市市市
P.32

**美菜
恋来屋**
島サラダ・
淡路ビーフ
P.18・20

**淡路島
牛乳**
カチョカヴァロ
P.21

**淡路
人形座**
P.24・25

**灘黒岩
水仙郷**
P.4

沼島
離島留学
P.8

徳島県

徳島空港

東京羽田から
淡路島まで2時間！
詳しくはP.30

サイクリストの“隠れオアシス” 灘黒岩水仙郷は 一年中営業中

淡路島一周、通称「アワイチ」。

その中でも、灘大川の登坂は多くのサイクリストが「覚悟して挑む」難所として知られています。

でも、その手前（時計回りの場合）に——知る人ぞ知る“寄り道スポット”があるのをご存じですか？

それが「灘黒岩水仙郷」。

冬には一面の水仙が咲き誇る絶景スポットですが、実はこの場所、花の季節以外でも通年営業していて、サイクリストにとっては“隠れたオアシス”なんです。



冬だけの花、でも絶景は一年中

水仙の花が見られるのは、例年12月～2月頃。斜面いっぱいに咲く白い花と、澄んだ冬の空気に包まれた景色は、まさに“季節限定の絶景”。でも、水仙郷の魅力はそれだけではありません。

「灘黒岩水仙郷」は通年営業。高台から望む海と空の広がり、季節を問わず訪れる人を癒してくれます。春の霞、夏の青、秋の光——それぞれの季節が、この場所に違った表情を与えてくれます。「ふくカフェ」こだわりのコーヒーとワッフルも、そんな景色とともに味わえば格別です。

※カフェは水曜日～日曜日及び祝日営業（変更あり）



サイクリスト目線の設備が充実

水仙郷の魅力は、景色や花だけではありません。自転車スタンドや工具はもちろん、ビンディングシューズを脱いで館内に入れるサンダルなど、サイクリストにとって「ありがたい」が詰まった設備が、しっかり整っています。

安心して駐輪できる自転車スタンド



空気入れ・工具も備えているので応急整備も安心



ビンディングシューズを脱いで快適に館内に入れるサンダル完備
※写真はイメージです



携帯充電 & Wi-Fiは無料で利用可能



ウォーターサーバーで自由に水分補給OK



自販機で飲料もすぐに補給可能



シャワー設備（有料）で汗を流してリフレッシュ

ここで一息ついてから、難所へ



灘黒岩水仙郷の高台は、灘エリアのサイクリングルートの中でも、風景と空気の“切り替えポイント”として機能します。海からの風が緩やかに吹き抜け、視界が開けるこの場所で、身体の緊張がふっとほぐれる瞬間。

ここでペダルを止め、深呼吸をひとつ—それだけで、次に待ち構える灘大川の登坂に向けて、気持ちが整っていきます。坂の入口に立つと、傾斜の存在感に思わず息を呑むかもしれません。でも、さっきまでの静けさが、挑戦へのスイッチを押してくれる。「ここからが本番」—そんな気持ちで、再びペダルを踏み込む。

水仙郷を拠点に、灘エリアを楽しむ

水仙郷を起点に、灘の魅力をもう少し深掘りしてみませんか？

「走るだけじゃない淡路島」そんな視点を持つと、旅の楽しみ方がぐっと広がります。



▲沼島の玄関口、ローカルな風情が魅力の沼島汽船



◀神話の舞台・諭鶴羽山に佇む、淡路島最高峰のパワースポット「諭鶴羽神社」への参道

南あわじ市産業建設部商工観光課

☎ : 0799-43-5221

✉ : shoukou_kankou@

city.minamiawaji.hyogo.jp

市ホームページ／灘黒岩水仙郷 ▶

<https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/site/suisenkyou/>



一新された交流拠点で、
鳴門海峡の魅力をまるごと体感

道の駅うずしお

10月19日(日)

リニューアルオープン！

淡路島の南端、鳴門海峡を一望できる絶景スポット「道の駅うずしお」が、2025年10月19日（日）にリニューアルオープン！約2年の整備期間を経て、これまで以上にパワーアップした観光と交流の拠点として生まれ変わります。

新しい「道の駅うずしお」は、地域の魅力をぎゅっと詰め込んだ特産品販売所や、地元の味覚を堪能できるレストラン、そして鳴門海峡の絶景を楽しめる展望台を完備。さらに、全国的に人気を誇る「あわじ島バーガー」の新ショップも登場！淡路島の自然とグルメを満喫できるスポットとして、訪れる人々を魅了すること間違いなしです。

仮営業中の「うずまちテラス」での営業は2025年9月15日をもって終了し、新たなステージへとバトンタッチ。リニューアル後は、これまで以上に多彩な体験や出会いが待っています。鳴門海峡の風を感じながら、淡路島の魅力を心ゆくまで楽しめるこの新スポットへ、ぜひ足を運んでみてください！

淡路島の魅力を詰め込んだ新スポット

淡路島南部に、自然、食、文化のすべてを楽しめる新しい施設がオープン！この場所は、観光客はもちろん、地元の人々にも愛される「みんなの憩いの場」を目指しています。目の前には雄大な景色が広がり、道の先には大鳴門橋自転車道（2027年度完成予定）が続くので、サイクリングの途中に立ち寄るのにもぴったり。さらに、世界的に有名な鳴門海峡の渦潮観光とも連動した魅力的な観光拠点となることが期待されています。

施設内では、淡路島が誇る特産品をふんだんに使ったグルメが勢ぞろい！特に、甘くてジューシーな淡路島産玉ねぎを使ったバーガーやうずの幸を活かした囲炉裏焼きは、ここでしか味わえない絶品メニュー。さらに、旅のお土産にぴったりなオリジナル商品もたくさん揃っています。淡路島の新しい魅力を発見するなら、このスポットは外せません！





©うずのくに南あわじ

公式キャラクターの名前が決定!!

今年の夏、道の駅「うずしお」の公式キャラクターのネーミング募集が行われ、多くの応募作品の中から、「うず坊」に決定しました。

「いつ来ても新しくワクワクする気持ち、また来るのが楽しみでうずうずする気持ち、そんな子どものような気持ちを、すべての方に感じてもらえる様な観光施設にしたい」と話す選定員。続けて、「そういった想いにも「うず坊」という名前はピッタリ当てはまりました。また、呼びやすさや親しみやすさもあり、うずうずワクワクしている小さな子どもらしい雰囲気が出ています」と選定理由を楽しそうに語ってくれました。

大型デジタルサイネージ

「うずしおビジョン」が登場

新たに完成する道の駅「うずしお」の施設内に、幅6メートル、高さ1.5メートルの巨大なデジタルサイネージ「うずしおビジョン」が設置されます。

このデジタルサイネージ「うずしおビジョン」では施設を訪れる観光客に、四季折々、訪れた季節のグルメや景色、アクティビティを捉えた映像コンテンツの上映が予定されています。加えて、timeleszのメンバーである松島聡さんが「鳴門海峡の渦潮」にインスピレーションを受けて制作した「うずしおビジョン」のシグニチャーキャラクター「淡路うず助」が画面上に登場、地域の魅力を紹介、国内外にアピールをしていくこととなります。



© So Matsushima / STARTO ENTERTAINMENT

オープン情報

- リニューアルオープン：2025年10月19日（日）
- 所在地：兵庫県南あわじ市福良
- 駐車場：普通車102台（無料）
- 営業時間：9:00～17:00

最新情報は公式サイトで随時発信中です。ぜひ、新しく生まれ変わった「道の駅うずしお」で、淡路島の魅力を体感してください。

南あわじ市産業建設部商工観光課

☎：0799-43-5221
✉：shoukou_kankou@city.minamiawaji.hyogo.jp

うずのくに南あわじ

〒兵庫県南あわじ市福良丙947-22
道の駅うずしお
☎：0799-52-1157

道の駅うずしお
公式サイト▶
<https://eki.uzunokuni.com/>



一人ひとりと向き合う教育が育む“生きる力” 沼島発・離島留学

南あわじ市の沖合に浮かぶ小さな島、沼島（ぬしま）。人口約400人のこの離島に、全国から子どもたちが集まり始めています。目的は「離島留学」。子どもたちが、自然と人に囲まれたこの島で、笑顔で学校に通っています。

「学校が楽しい」と言える日常を

沼島小中学校の全校生徒は約40名。少人数だからこそ、一人ひとりに目が届く教育が可能です。島外からの通学や移住による離島留学が広がる中、子どもたちは漁業や自然体験、地域行事を通じて、新たな価値観を学ぶことができます。

沼島では毎日笑って登校しています

「土日は、いらない」と言うくらい学校に行きたがります

人との距離が近く、先生も親身に関わってくれるので、自分の意見をしっかりと伝えられるようになりました

地域全体で子どもを見守ってくれる安心感があります



南あわじ市立沼島小学校・沼島中学校

「島全体が家族」

——人との距離が近い暮らし

沼島では、地域と学校が一体となって子どもを育てます。漁師さんから魚のさばき方を教わったり、「マンボウが獲れたよ」と声をかけられたり。そんな日常が、子どもたちの社会性や自己肯定感を育てています。

「都会では“競争”ばかりだったけれど、島では“協力”が基本」
——離島留学の体験者は、島での暮らしをそう語ります。

離島留学の魅力と課題

魅力

- 地域行事・自然体験を通じた実践的な学び
- 自信と社会性を育む環境
- 都市部との二拠点生活も可能
- 通学バス・船代補助などの支援制度あり

課題

- 長距離通学の負担（特に低学年）
- 虫や自然環境への慣れ
- 移住に伴う経済的負担
- 人間関係の密度（近さ）

保護者の多くが「子どもの表情が明るくなった」「自分から家事を手伝うようになった」と語ります。

全国からの参加を募集中

——体験・相談・取材も可能

南あわじ市では、来年度も新規受け入れを予定。学校見学やオンライン相談会も実施中です。取材希望者には、授業や地域行事などをご案内可能です。

おすすめの取材ポイント

- 離島留学生との対談
- 留学生の1日密着取材
- 実際の授業・部活動・地域行事の撮影
- 地域との交流による成長エピソード
- 学力・人間関係・自己肯定感への効果

沼島への離島留学で移住した親子
(2023年5月4日撮影)



「人生が変わるきっかけ」は、 島にある

「毎朝、海を見ながら登校するのが当たり前になった」
「一人ひとりの顔や性格がよくわかる。全員が仲間」
——離島留学を経験した子どもたちの言葉には、確かな変化が宿っています。

都市では得られない“学びの原風景”が、沼島にはあります。教育の選択肢としての「離島留学」、今こそ、その可能性に目を向けてみませんか。

南あわじ市総務企画部ふるさと創生課

☎：0799-43-5205

✉：furusato@city.minamiawaji.hyogo.jp

南あわじ市教育委員会学校教育課

☎：0799-43-5231

✉：gakkou_kyouiku@city.minamiawaji.
hyogo.jp

市ホームページ ▶
[https://www.city.minamiawaji.
hyogo.jp/soshiki/gakkou/
ritouryuugaku.html](https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/soshiki/gakkou/ritouryuugaku.html)



学校を飛び出し、地域へ広がる学び

南あわじ市の挑戦

「学ぶ楽しさ」日本一!

南あわじ市では、第3期教育振興基本計画に引き続き「学ぶ楽しさ日本一」を掲げ、学校を飛び出し、地域へ広がる学びを推進しています。淡路人形浄瑠璃をはじめとする伝統芸能や産業を自分事として発信する体験、防災や地域づくりに主体的に関わる実践、スポーツ選手や文化人との出会いから夢を描く経験——子どもたちは、「まち」全体を舞台に、多彩な学びを通して成長しています。

第4期南あわじ市教育振興基本計画（2025～2029年）では、こうした取組をさらに発展させ、子どもから大人まで生涯を通じて「学ぶ楽しさ」を実感できるまちづくりを進めています。

地域の特色を存分に生かした教育プログラム

学ぶ楽しさを支える7つの柱

南あわじ市では、「新たな気づきや学びを得る楽しさ」「困難なことにもチャレンジする楽しさ」「考え工夫し、創造する楽しさ」「仲間と協働してやり遂げる楽しさ」「思いや考えを表現する楽しさ」「本物に触れる楽しさ」「ふるさとを知りふるさとかかわる楽しさ」の7つの柱を掲げています。これらを通して、子どもたちが発見や感動を重ね、未来を切り拓く力を育んでいくと考えています。



地域の魅力を発信！「ふるさと創造学習」

放課後が“学びのもう一つの舞台”

放課後の時間も、新しい風景に変わりつつあります。学童保育と放課後子ども教室を一体化した「アフタースクール事業」では、子どもたちが安心して過ごしながらか、多彩な活動に挑戦できる環境を整えています。

プログラミングを楽しんだり、音楽で仲間と演奏を楽しんだり、スポーツで汗を流したり——自分の好きな活動を選んで夢中になれるのが大きな魅力です。地域の大人や学生ボランティアも支援に加わり、子どもたちは世代を超えた交流を楽しんでいます。

「今度は、アフタースクールで何をしよう？」と自ら友達を誘い合う姿も増え、放課後は単なる「預かりの時間」から、子どもたちが主体的に学び、成長するもう一つの舞台へと広がっています。



淡路瓦を使ったオカリナ教室

ふるさとを「創る」学び

「うさぎ追いしかの山、小鮎釣りしかの川」で知られる唱歌「ふるさと」。「ふるさと」とは、経験と試行錯誤を通じて自ら創り出していくものです。

そこで南あわじ市では、淡路人形浄瑠璃などを題材にした9年間一貫の学びを通じて、子どもたちが伝統文化や産業を自分事として捉え、協働する力を育みます。

また「スクールイノベーション」事業では、教員も挑戦を重ね、授業改革や不登校対策など、多様な課題に取り組んでいます。

さらに、「防災ジュニアリーダー認定講座」や「コース防災プロジェクト」では世代を超えた学びを推進。「夢プロジェクト」では著名人との出会いを通じて努力や仲間の大切さを学び、視野を広げています。

こうした多彩な学びの積み重ねによって、子どもたち、そして教員自身が「ふるさと」を創り出し、未来へとつなげています。



身近に感じる淡路の歴史と伝統文化

防災教育の拠点として連携大学生・高校生が作る防災教育ワークショップ



トップアスリートを見つめる子供たち

おすすめの取材ポイント

- 多彩な現場：人形浄瑠璃の舞台、放課後のアフタースクール、防災訓練、講演会など、現場ごとに表情の違う子どもたちに出会えます。
- 地域と学校の連携：保育園から高齢者施設まで合同で避難訓練を行うなど、地域全体で学びを支える姿は価値があります。
- 教育をまちづくりの柱に：移住や地域活性化の起爆剤として教育に投資する自治体の取り組みは、全国的にも注目されています。

市が掲げる「学ぶ楽しさ日本一」は、子どもたちの笑顔と地域の熱意が支える挑戦です。現場に足を運んでいただければ、その魅力を実感していただけるはずです。

南あわじ市教育委員会学校教育課

☎ : 0799-43-5231

✉ : gakkou_kyouiku@city.minamiawaji.hyogo.jp



地場食材にこだわった学校給食の提供
(野菜はもちろん、鱧、鯖、鯛など旬の魚や淡路ビーフ等)

新しい一歩を支える制度がある 南あわじ市の移住支援

「移住してみたいけれど、いきなりは不安」——そんな不安を1つずつほどいていただきたい！という思いを込めて、南あわじ市では、まるで暮らしをリハーサルするようなメニューの数々を用意しています。実際に住んでみることで、日々の暮らしのリアルに触れながら、移住への不安を期待やワクワクに変換できるよう、心を込めてサポートしています。

STEP 1：まずは話してみる

オンライン移住相談

「気になるけど、何から始めればいいのか分からない」「南あわじ市って、どんなところ?」「どんな移住支援があるの?」

そんな方のために、南あわじ市ではオンライン相談を随時受付中。市の担当者が丁寧に対応します。

オンライン移住相談 ▶

<https://www.suminiko.jp/soudan.php>



休日等移住相談

平日が難しい方には土日祝の相談もOK。「休日等移住相談」をぜひご利用ください。

NPO法人 Entrance To Awaji (市委託先)

☎ : 080-3772-6195

✉ : c.village126@gmail.com

STEP 2：実際に来てみる

オーダーメイドの移住体験プログラム

「住むって、どういうこと?」を体験できる滞在プログラム。

先輩移住者との交流、テレワーク施設の見学、空き家の内覧など、希望に応じて内容をカスタマイズ。

観光では見えない“暮らしのリアル”が、ここに 있습니다。

移住体験
プログラム動画
(YouTube)



▶ 南あわじ市が選ばれる理由

「住みたい田舎ベストランキング」(宝島社)で、南あわじ市は兵庫県下第1位(人口3万~5万人未満のまち)を獲得。若者・子育て・シニア・総合の全4部門で評価されています。

兵庫県
南あわじ市
移住体験

新登場

MINAMI-AWAJI

ご希望に合わせて滞在プログラムをご用意します!

移住者との交流
施設の見学や体験
空き家の見学 etc.

STEP 3：支援制度を使ってみる

マイホーム取得補助／移住支援補助金



支援事業の詳細 ▶

<https://www.suminiko.jp/seido.html>

南あわじ市では、移住者向けの補助制度をたくさん用意しています。

種別	補助内容	上限額	備考
マイホーム	新築・建売住宅取得	最大200万円	子ども加算あり（1人につき30万円）
〃	中古住宅取得	最大100万円	同上
賃貸住宅	初期費用	最大20万円	礼金・仲介手数料
〃	引越費用	最大5万円	業者委託分
〃	レンタカー費用	最大5万円	1か月分まで ※おためし移住のみ

<番外編>夢を形にする

起業・空き家活用支援

「何か始めたい」方にも南あわじ市はおすすめです。

起業準備資金はもちろん、移住者や女性、また空き家を事業所として活用する方への加算補助も手厚いと好評をいただいています。



補助内容	上限額	補助率
起業経費（設備・備品など）	最大150万円	1/2
空き家取得費	最大100万円	1/3
加算補助（女性・移住者など）	最大80万円	条件により加算



市ホームページ

空き家 × 移住定住——「サブリース」で広がる新しい暮らしの選択肢

南あわじ市では、移住希望者の住宅不足と空き家の利活用を同時に解決する新たな支援策として、「サブリース型空き家再生支援事業」を行っています。

事業のポイント

- 最大200万円の改修費補助で、空き家を住まいとして再生
- 移住者向け住宅の供給促進と、地域資源の有効活用
- 全国のサブリース事業者にもおすすめの制度設計

この制度は、移住者の「住まいの不安」を解消し、空き家の「地域資源化」を後押しするもの。南あわじ市が描く「暮らしの循環」に、ぜひご注目ください。

対象となる方

- 空き家を借り上げて改修・転貸する事業者
- 地域内で移住者向け住宅供給に取り組む法人・団体

南あわじ市総務企画部ふるさと創生課

担当：山下

☎：0799-43-5205

✉：furusato@city.minamiawaji.hyogo.jp



「子育ての喜びが見えるまち」の実現へ
地域一丸で
働き方改革に挑戦

南あわじ市で、ちょっと面白い動きが始まっています。
産官学民が一体となって、「子育てしやすい社会って何だろう？」を本気で考え、形にしてい
くプロジェクト。その名も――

「子育て応援コンソーシアム」

行政主導ではなく、企業が自ら「子育て応援挑戦企業」として名乗りを上げ、働き方や職場
環境を見直す。高校生はその企業の魅力をPR動画にして発信。市民はその動きを応援し、地域
全体で家庭と仕事が両立できる環境づくりに取り組んでいます。

ちょっと聞いてみたくなりませんか？
「高校生が企業PR動画を作るって、どんな感じ？」
「企業が“子育て応援”って、実際何してるの？」



子育てしやすい職場をめざすまち

南あわじ市では、企業が自ら「子育て応援挑戦企業」として宣言。
すでに各業界から10社が参加。

それぞれが「うちではこうやって個々のライフスタイルに合った働き方を応援しています」と発信し、他社と学び合う勉強会も定期開催中。



宣言企業

建設業	(株) 森長組
製造業	(株) イズミフードマシナリ パナソニックエナジー南淡 (株)
卸・小売業	井本産業 (株)
金融業	淡路信用金庫
サービス業	(株) うずのくに南あわじ (株) プラザ淡路島
医療・福祉	社会福祉法人淡路島福祉会
協同組合	あわじ島農業協同組合
官公庁	南あわじ市役所

オブザーバーが応援

オブザーバーも参加し、業態ごとの自主的な取り組みを応援。これからは活動の幅を広げ、共に成長していきます。



オブザーバー

南あわじ市商工会
淡路島観光協会
南あわじ市社会福祉協議会



高校生が企業の魅力を映像化！

地元高校生が企業とタッグを組み、PR動画を制作中。働く現場を自分の目で見て、感じて、編集して——「就職って、意外と面白いかも」「こんなところで働いてみたい！」と思えるきっかけに。

企業にとっても、若い視点からのフィードバックは新鮮そのもの。

働き方改革のその先へ

「若者に選ばれるまち」

この取り組みのゴールは、「子育ての喜びが見えるまち」づくり。

企業だけじゃない。高校生も、行政も、市民も、みんなで一緒に。

働きやすさと介護や子育てのやすさが両立する地域って、きっと未来のスタンダード。



南あわじ市総務企画部ふるさと創生課

担当：大上・濱野

☎：0799-43-5205

✉：furusato@city.minamiawaji.hyogo.jp

市ホームページ ▶
<https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/site/consortium/>



一線を画す挑戦 南あわじ市の自走型DX戦略

この取り組みが
全国的な賞を受賞！
詳しくは裏表紙を
ご覧ください！

南あわじ市では、職員自らが技術を学び、現場からの発想で組織を動かす「自走型DX」が進んでいます。外部に頼るのではなく、内発的な力によって成果を生み出すこの取り組みは、地方自治体の可能性を大きく広げています。市役所という枠を超え、地域に根ざした新しい自治のかたちを模索する姿勢が、今、注目を集めています。

自治体の限界を越える「自走型DX」

南あわじ市では、職員自らが生成AIやPythonなどの最新技術を学び、業務改善から市民サービスの向上までを実現する「DX人材育成プロジェクト」が進行中です。外部人材に頼らず、職員が自ら開発・実装までを担うこの取り組みにより、年間2,800時間以上の業務削減を達成しています。市長が掲げる「最強の市役所」構想のもと、現場からの発想と実行力が組織全体を動かしています。



挑戦が組織を動かす、 現場発の変革力

職員がPythonを習得し、市ホームページ・移住支援サイトのサイト内AI検索システムや多言語対応のごみ分別アプリ「わけるんです♪」などを自力で開発した事例は、自治体の可能性を大きく広げるものです。生成AIを活用したコード作成やWebデバッグモードの応用など、民間顔負けの工夫が随所に見られます。庁内では部署横断の「自走型チーム」が形成され、建築技術AIボット「KAIくん」などの新たなツールも誕生しています。

持続可能な文化を育む、共創の力

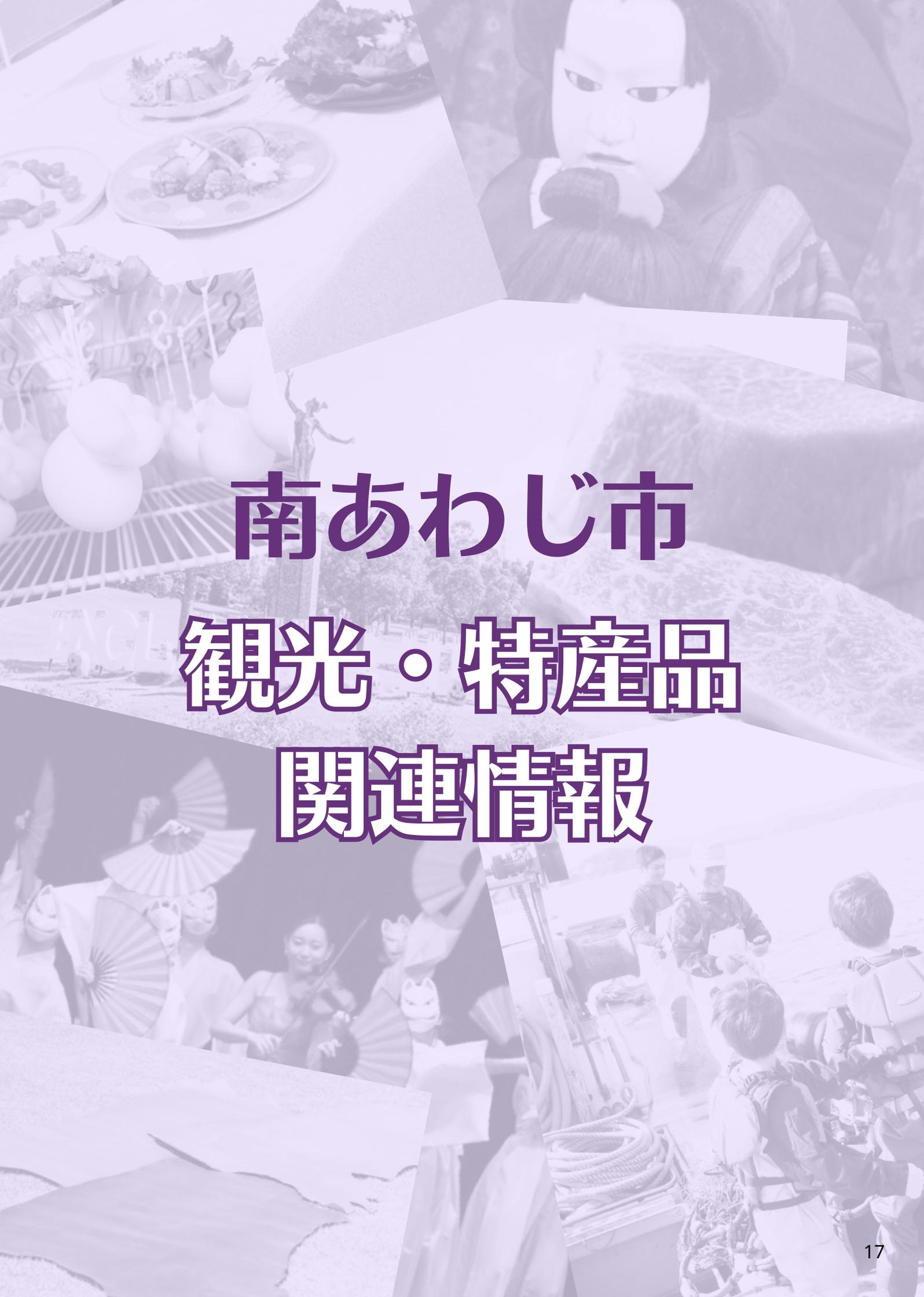
この取り組みは、業務効率化にとどまらず、職員の成長実感や組織のエンゲージメント向上にもつながっています。人事評価制度も「努力の過程」を重視する仕組みに刷新され、挑戦と学びが文化として根付き始めています。南あわじ市の挑戦は、地方自治体の枠を超え、「一人ひとりが変革の担い手」となる未来を切り拓いています。

南あわじ市総務企画部情報課

担当：小松

☎：0799-43-5206

✉：jyouhou@city.minamiawaji.hyogo.jp



南あわじ市
観光・特産品
関連情報



一次産業の魅力を引き出す、島野菜の食体験 島サラダ×ベジスイーツフェア

野菜って、
こんなに
楽しいんだ！

そんな声が聞こえてきそうな、淡路島の新しい食の祭典。

地元食材だけで作る“島サラダ”に、野菜を使ったスイーツ＝“ベジスイーツ”が仲間入り。

見た目も味も、まさに新感覚。食べる人を笑顔にする、五感で楽しむグルメイベントです。

島サラダ×ベジスイーツフェア

開催期間

令和7年11月15日（土）～
令和8年3月22日（日）

場所

淡路島内の参加飲食店（現在募集中）

主催

南あわじ市食の拠点施設整備推進協議会



“ベジスイーツ”が仲間入り

今年度から島サラダフェアに、淡路島産の野菜や果物を使った“ベジスイーツ”が加わります。

参加店舗ごとに工夫を凝らしたオリジナルスイーツが登場予定で、見た目の華やかさと食べたときの驚きを楽しめる内容です。野菜が苦手な子どもでも食べやすく、健康志向の方にもおすすめ。島内を巡って食べ比べができるほか、スタンプラリーのキャンペーンも実施されます。

「島サラダ」って何？

オール淡路島産の食材を使った、各店舗オリジナルのサラダ。

年間300種類以上の野菜・果物が育つ淡路島だからこそできる、彩り豊かで個性あふれる一皿です。

シェフたちが腕をふるい、見た目も味も驚きの連続。「野菜が主役」の料理が、ここにあります。



取材、大歓迎！

11月12日（水）15時～、マスコミ向け「お披露目会」を開催予定。

場所：直売所「美菜恋来屋」フードコート
（南あわじ市八木養宜上1408）

- ※参加店舗のサラダ試食あり
- ※料理人のインタビューも可能
- ※取材希望の方は事前にご連絡ください

南あわじ市産業建設部食の拠点推進課

担当：村上・土井

☎：0799-43-5224

✉：shoku@city.minamiawaji.hyogo.jp

南淡路農業改良普及センター

☎：0799-42-0649

島サラダフェア ▶
公式サイト
<https://www.awajikoku.com/shimasalad/>



◀最新情報・参加店舗・
レシピ紹介（YouTube）

一級品として認定される、淡路島の誇り 幻の和牛『淡路ビーフ』

神戸ビーフや松阪牛の約半数は、淡路島で生まれた但馬牛。

その中でも、厳しい認定基準を満たした牛だけが名乗れるのが『淡路ビーフ』です。



淡路ビーフ®

厳しい認定基準を満たし
淡路島のブランド牛へ
年間わずか200頭ほど

淡路和牛

下の淡路牛のうち、
和牛品種

淡路牛

淡路島で生まれ育った、または
淡路島での飼育期間が他の場所より長い牛
(ホルスタイン・交雑種・和牛など)

淡路ビーフ認定条件

兵庫県産但馬牛の品種であること
淡路島で生まれ、兵庫県で育ったもの
歩留等級がA/Bランク
霜降り度 (BMS) がNo.4以上
枝肉重量 去勢330kg以上
牝280kg以上
牝は未経産で25ヶ月以上の月齢

etc...

取材、大歓迎！

- 生産者インタビュー、牛舎・精肉店の撮影協力可能
- 美菜恋来屋（南あわじ市）での販売風景も撮影OK
- ブランド化の背景や“淡路牛との違い”も番組で紹介しやすい！



淡路ビーフブランド化推進協議会

担当：浜中

☎：0799-62-0068

080-6136-7507

淡路ビーフ（淡路ビーフ▶
ブランド化推進協議会）
ホームページ
<https://awaji-beef.com/>



◀淡路畜産農業協同組合
連合会ホームページ
<http://awaji-katikutiba.or.jp/>

販売協力：美菜恋来屋

☎：0799-43-3751

一粒万倍の可能性を秘めた島生まれのチーズ カチョカヴァロが世界に挑戦！

南あわじ市で生まれたチーズが、世界の舞台へ。
淡路島牛乳株式会社が手がける「淡路島カチョカヴァロ」が、2025年11月にスイス・ベルンで開催される「World Cheese Awards 2025」に出品されます。
2024年の国内大会で金賞・最優秀部門賞を受賞した
実力派チーズが、いよいよ世界に挑みます。

地元の恵み × 職人技

- 原材料は淡路島産の新鮮な生乳と、藻塩（海藻の旨みを含むまろやかな塩）
- 職人が一つひとつ手作業で仕上げる、こだわりの製法
- 焼くと外はカリッと香ばしく、中はとろっと濃厚な食感
- 形状にも改良を重ね、こだわりの逸品に

受賞歴と挑戦の軌跡

年	大会名	部門	受賞
2022	Japan Cheese Awards	パスタフィラータ熟成部門	銅賞
2024	第1回アルティザンチーズアワード	パスタフィラータ熟成部門	SUPERGOLD（最高金賞）
2024	Japan Cheese Awards	パスタフィラータ熟成部門	金賞（最優秀部門賞）

取材・企画におすすめの切り口

- 地元食材を活かした“地域発チーズ”の物語
- 職人の手仕事と改良の舞台裏
- 焼いて食べる実演シーンは映像映え抜群
- 世界大会への挑戦を追うドキュメンタリー企画にも最適

商品情報

商品名：淡路島カチョカヴァロ
種類：ナチュラルチーズ
内容量：130g
原材料：生乳（兵庫県産）、食塩（藻塩）
価格：1,280円（税込）



淡路島牛乳株式会社 販売部

担当：柏木・稲山

☎：0799-42-5013

✉：j.kashiwagi@awajishimamilk.co.jp
kikaku@awajishimamilk.co.jp

皮 畜産と革加工が一枚岩でつなぐ地域循環 淡路島レザーの挑戦

「この革は、どこで、誰が育て、誰が仕立てたのか」
そんな問いに答えられるレザーが、淡路島にあります。
食肉としての役割を終えた淡路牛・淡路ビーフの皮を、職人の
手で丁寧に仕立てた『淡路島レザー』。
食品と同様に“トレーサビリティ”を導入した、全国でも極めて
珍しい革製品です。

始まりはコロナ禍から

観光客の激減で牛肉の需要が落ち込み、皮も行き場を失って焼却処分に。

「命を余すことなく活かしたい」——そんな思いから、畜産農家と革職人が手を組み、2021年に淡路島レザーが誕生しました。



淡路島レザーの特徴

- ・和牛由来の希少な革を使用（海外産が主流の中で極めて貴重）
- ・個体識別番号で「育てた人・仕立てた人」がわかるトレーサビリティ付き
- ・霜降り肉特有の脂肪が多く、加工には高い技術と手間が必要
- ・一枚の革に、島の自然・畜産農家の思い・職人の技術が詰まっている

取材、大歓迎！

- ・革職人の作業風景、畜産農家のインタビュー、島の風景とセットで撮影可能
- ・「命の循環」「地域資源の再発見」「サステナブルなものづくり」など、番組テーマに合わせて構成しやすい素材です

淡路ビーフブランド化推進協議会

担当：事務局 浜中

☎：080-6136-7507

✉：awajibeef@awaji-katikutiba.or.jp

淡路島レザー協議会 ▶
ホームページ

<https://awajishima-leather.com>



海の仕事の「一挙一動」を学ぶ 淡路島で“本物の漁師体験”

「魚を獲る」だけじゃない。
海と向き合い、自然のリズムを読み、命をいただく——そんな漁師の仕事を、淡路島で実際に体験できるプログラムが注目を集めています。
2025年大阪・関西万博「ひょうごフィールドパビリオン」SDGs体験型地域プログラムにも認定。
子どもから大人まで、誰でも参加できる“本物の漁”が、ここにあります。



選べる3つの漁法体験

漁法	場所	特徴
定置網漁	灘	沿岸に仕掛けた網に入った魚を収穫。魚の種類が豊富！
吾智網漁	丸山	網で魚を囲み、引き揚げるダイナミックな漁法
底引網漁	沼島	海底を網で引いて獲る、深海の魚との出会いも

それぞれの漁法に、地元漁師の丁寧なレクチャー付き。
初めての方でも安心して参加でき、漁業の奥深さを体感できます。

参加者の声（一部抜粋）

「漁師さんの説明が丁寧で、漁の仕組みがよくわかった」
「魚の種類が多くて驚いた。子どもも大喜び！」
「漁業の大変さと面白さを知る、貴重な体験だった」



映像化のヒント

- 網を引き揚げる瞬間の迫力ある映像
- 初めて見る魚に驚く子どもたちの表情
- 漁師の語りと手仕事のリアルな描写
- 沼島や灘の海景と漁船の動きが、自然と人の営みを映し出す

南あわじ市産業建設部水産振興課

担当：庄田

☎：0799-43-5243

✉：suisan@city.minamiawaji.hyogo.jp



一つの旋律が、伝統を呼び覚ます 『戎～next stage～』

2025年秋、淡路人形座が初のオリジナル曲『戎～next stage～』を発表します。南あわじふるさと応援大使・益子侑氏と座員による共同制作で誕生した本作は、五百年の歴史を誇る淡路人形浄瑠璃の“次世代の響き”を担う挑戦的な一曲。伝統芸能の核である太夫・三味線・人形の表現に、現代音楽とダンスを融合させた新演目として、淡路人形座の未来をひらきます。

福の神・戎さまを現代に——

楽曲のモチーフは、淡路人形座の代表演目「戎舞」に登場する福の神・戎さま。柔らかな笑顔の裏に秘めた力強さを、舞と音で描き出します。三味線の旋律と太夫の語り、現代的なビートが重なり、観客を“次の舞台”へと誘います。

人形と人間が共に舞う

地元ダンスチーム「福神笑舞（ふくじんしょうぶ）」とのコラボレーションも実現。人形の繊細な動きと人間の滑らかなダンスが融合し、神々しい世界観を立体的に描き出します。毎月1回（15時公演）「スペシャルデー」として、福神笑舞が舞台に登場します。



衣装に宿る、島の手仕事

戎さまの衣装は、Awaji 藍 Land project（根岸誠一氏）による淡路島の藍染めと南あわじ市阿万地区女性部によるたまねぎ染めを左右で使い分けた特別仕様。地域の伝統技術と手仕事が融合した一着です。福神笑舞の衣装も同素材で統一され、舞台全体が“染めの世界”に包まれます。

SNSで話題の“踊る人形”が舞台へ

TikTokで190万回再生を記録した人形のダンス動画。その“本物”を舞台で体感できるのが『戎～next stage～』です。伝統芸能がSNSとつながることで、若い世代へのアプローチと地域振興にもつながります。

今後の展開

- 通常公演の新演目として定着（週末＋祝日15:00公演）
- 毎月1回「スペシャルデー」開催（福神笑舞が登場）
- 地域イベント・PR・MV制作・SNS発信など多角的に展開予定

株式会社うずのくに南あわじ 淡路人形座

〒656-0501 兵庫県南あわじ市福良甲1528-1地先
淡路人形浄瑠璃館内

広報担当：沼田

☎：0799-52-0260 FAX：0799-52-3072

公式WEBサイト：<https://awajiningyoza.com>

営業時間：9:00～17:00

定休日：毎週水曜日、臨時休館あり



一途な志が、未来を動かす

淡路人形座、 後継者と舞台へ

淡路島の伝統芸能「淡路人形浄瑠璃」が、兵庫県西宮市で新たな一歩を踏み出します。

260年以上の歴史を持つ淡路人形座が、若き後継者たちとともに挑む特別公演。舞台は、芸術文化の発信拠点・兵庫県立芸術文化センター。世代を超えて紡がれる技と心が、観る者の胸を打ちます。

高校生×人形座、世代を超えた共演

後継者不足という現実に向き合い、クラブ活動で技を磨く学生たちが舞台に立ちます。熟練の人形遣いと若き力が響き合う、希望のステージ。

三味線が導く「音の継承」

第一線の奏者と若手が並び立つ合同演奏。音色が世代をつなぎ、舞台に命を吹き込みます。

復活演出「^{はしご}梯子殺陣」

名作「傾城阿波の鳴門」で、かつて淡路人形座で行われていた演出が復活。伝統の技が再び舞台に蘇ります。

▶ 淡路人形座とは

1964年発足。国指定重要無形民俗文化財。常設館での公演に加え、国内外での出張公演や後継者育成にも尽力。2024年には創立60周年を迎えました。

公演情報

日時：2025年10月4日（土）

開場 13:00／開演 13:30

会場：兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール（西宮市高松町2-22）

演目：戎舞／三味線合同演奏／傾城阿波の鳴門 十郎兵衛住家の段

料金：S席3,500円／A席3,000円／B席2,000円（全席指定・税込）

※未就学児入場不可

※B席は舞台構造上、舟底が見える可能性あり

チケット予約：

芸術文化センターチケットオフィス

☎：0798-68-0255

（10:00～17:00／月曜休）

ウェブ予約：

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

株式会社うずのくに南あわじ 淡路人形座

〒656-0501 兵庫県南あわじ市福良甲1528-1 地先
淡路人形浄瑠璃館内

広報担当：沼田

☎：0799-52-0260 FAX：0799-52-3072

公式WEBサイト：<https://awajiningyoza.com>

営業時間：9:00～17:00

定休日：毎週水曜日、臨時休館あり

五感がよろこぶ特別な一日 淡路ファームパーク イングランドの丘



南あわじ市にある「淡路ファームパーク イングランドの丘」は、イギリス湖水地方をイメージした農業公園。

コアラをはじめとする動物たちとの出会い、季節の収穫体験、四季折々の花畑やグルメがそろい、秋の淡路島を満喫できるスポットです。

2025年秋は、コスモス畑・さつまいも収穫・希少羊の展示・新作スイーツなど、見どころが満載。

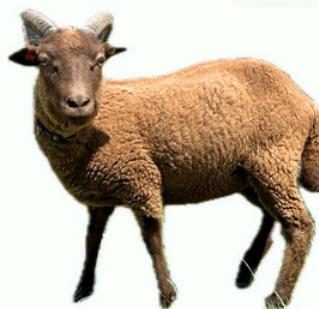
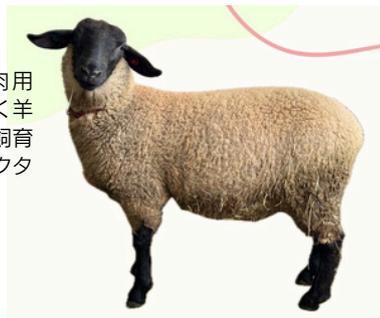
自然と人が織りなす“映える”体験が、ここに 있습니다。

動物たちと出会う癒しと学びの時間

- ・ コアラをはじめ、ヒツジ・ウサギ・カピバラなど約30種の動物が暮らす園内
- ・ 2025年夏からは、英国原産の羊の希少種「マンクスロフタン」「サフォーク」が仲間入り（展示時間は15時まで）
- ・ 名前付きで展示されるヒツジたち（例：ショコラ・モカ・めかぶ・わかめ）の愛らしい様子が人気

サフォーク

イギリス原産の肉用種。頭部と四肢は黒く羊毛は白い。国内での飼育頭数は多い某キャラクターのモデル。



マンクスロフタン

マン島原産。角は2~4本、時には6本角の個体も。毛色は茶色で比較的小型な品種。日本では飼育頭数が少なく絶滅が危惧されている希少品種。当施設でも初の飼育。

10万本のコスモスが咲き誇る 心安らぐ風景

- ・ イングランドエリアの大花畑（約2,200㎡）に、センセーション種のコスモスが約10万本
- ・ 見頃：10月下旬~11月中旬（天候により変動）
- ・ 花畑の中には小道やハート型オブジェ、ブランコベンチなどのフォトスポットも整備



秋の味覚を収穫

さつまいも掘り体験

- 収穫畑（約1,500㎡）で「シルクスイート」「紅はるか」の2種を栽培
- 収穫期間：9月中旬～10月下旬（なくなり次第終了）
- 料金：1株500円（悪天候時は中止）
- 収穫した野菜は園内レストラン「Moo Mooバーベキュー」で炭火焼きにして味わえる



秋限定スイーツ

“まんま芋”な新作登場

イングランドエリア「おいしい工房」では、さつまいもを使った新作スイーツを試作中。

- さつまいもドーナツ：淡路島産牛乳・卵を使った生地に鳴門金時のペーストを練りこみました。
- まんまイモ：ココア生地で鳴門金時のスイートポテトを包んだ“まんま芋”
- おさつスティック：一口サイズのさつまいもを黒蜜で絡めた揚げ菓子
- いもあんぱん：淡路島産牛乳・卵を使った生地に鳴門金時と白あんを合わせたペーストを包みました



※価格・発売日は未定。試作段階ながら、秋の味覚として注目です！

ここでしか買えない！

コアラ店長のおすすめ土産

- 淡路島玉ねぎを使ったスープ・ドレッシング
- オリジナルパッケージのプチガトー
- ぬいぐるみが当たるハズレなしの「コアラくじ」
- オリジナルコアラグッズ（ぬいぐるみ、文具など）



淡路ファームパーク イングランドの丘

〒656-0443 兵庫県南あわじ市八木養宜上1401番地

企画・広報担当：井上

☎：0799-43-2626

✉：r-inoue@england-hill.com

営業時間：9:30～17:00（最終入場16:30）

※季節により変動あり

休園日：火曜日（祝日の場合は営業）

入園料：大人1,200円（高校生以上）小人400円（4歳以上）



一巡で、南あわじの魅力がほどける 無料周遊バス「UZU LOOP」

南あわじ市は、2025年7月1日より、淡路島南部の主要観光施設と宿泊施設を結ぶ無料周遊シャトルバス「UZU LOOP (うずループ)」の運行を開始しました。大鳴門橋開通40周年を記念したこの取り組みは、地域資源の回遊性を高め、観光客の滞在価値を向上させることを目的としています。

観光の“点”を“線”に、 そして“面”へ

「UZU LOOP」は、うずしおクルーズ、うずの丘大鳴門橋記念館、道の駅うずしお（うずまちテラス）などの人気観光地と、提携する6つの宿泊施設を結ぶルートで、1日4往復8便を運行。徳島阿波おどり空港からのアクセスバス「オニオンバス」や、京阪神からの高速バスとも接続し、遠方からの来訪者にも利便性の高い移動手段を提供しています。

このループ型の運行形態により、観光客は“点”として存在していた観光地を“線”でつなぎ、南あわじ全体を“面”として体感することが可能になります。

地域資源の再編集と 体験価値の向上

「UZU LOOP」は、南あわじの魅力的な体験コンテンツをより多くの方に届けるための“アクセス装置”として機能しています。特に、マイカーを持たない都市部の来訪者にとって、宿泊施設と観光地をつなぐ無料シャトルバスの存在は、体験のハードルを下げ、南あわじの豊かな地域資源に触れる機会を広げるものです。

例えば、道の駅福良では世界最大級のうずしおを体感できるクルーズや、淡路人形座での伝統芸能鑑賞など、すでに高い人気を誇るコンテンツが集積しています。これらを「UZU LOOP」でつなぐことで、点在する魅力を再編集し、滞在中の体験価値をより豊かに、よりスムーズに提供することが可能になります。

地域と観光客の“交差点”

「UZU LOOP」は、観光客にとっての利便性向上だけでなく、地域住民との接点を生みます。バス停留所の周辺には、地元の飲食店や直売所、足湯などが点在し、観光客と地域の日常が交差する瞬間が生まれます。

みなと観光バス株式会社

☎：0799-36-3081（5:00～17:00）



大鳴門橋開通 40 周年記念事業

UZU LOOP

Free Shuttle Bus

うずループ無料シャトルバス

無料周遊バス

大鳴門橋開通 40 周年を記念し、淡路島南部の観光を代表する「うずしおクルーズ」「うずの丘大鳴門橋記念館」「道の駅うずしお」と、宿泊施設 6 施設を結ぶ無料シャトルバス「UZU LOOP Free Shuttle Bus(うずループ無料シャトルバス)」が、令和 7 年 7 月 1 日から令和 8 年 6 月 30 日まで運行されます。

遠方から徳島阿波おどり空港経由でお越しの方は、徳島空港アクセスバス「オニオンバス」と当シャトルバスをご利用いただくことで、快適かつお得に淡路島南部を観光することができます。

また、京阪神から高速バスでお越しの方は、バス停「陸の港西淡」または「福良」で、当シャトルバスに乗り継げます。



WEB サイトはこちらから



うずループ無料シャトルバス停留所



■ 福良方面⇒陸の港西淡方面

停留所	2	4	6	8
ホテルニューアワジ プラザ淡路島	9:55	11:40	14:45	16:25
淡路島海上ホテル	10:02	11:47	14:52	16:32
道の駅福良 ロータリー (なないろ館・うずしおクルーズ)	10:07	11:52	14:57	16:37
休暇村南淡路	10:17	12:02	15:07	16:47
グランドメルキュール 淡路島	10:23	12:08	15:13	16:53
道の駅うずしお	10:32	12:17	15:22	17:02
うずの丘 大鳴門橋記念館	10:36	12:21	15:26	17:06
ホテルアナガ	10:43	12:28	15:33	17:13
うめ丸	10:45	12:30	15:35	17:15
陸の港西淡	—	12:45	—	17:30

■ 陸の港西淡方面⇒福良方面

停留所	1	3	5	7
陸の港西淡	8:47	—	13:30	—
うめ丸	9:02	10:47	13:45	15:35
ホテルアナガ	9:04	10:49	13:47	15:37
うずの丘 大鳴門橋記念館	9:11	10:56	13:54	15:44
道の駅うずしお	9:15	11:00	13:58	15:48
グランドメルキュール 淡路島	9:24	11:09	14:07	15:57
休暇村南淡路	9:30	11:15	14:13	16:03
道の駅福良 ロータリー (なないろ館・うずしおクルーズ)	9:40	11:25	14:23	16:13
淡路島海上ホテル	9:45	11:30	14:28	16:18
ホテルニューアワジ プラザ淡路島	9:52	11:37	14:35	16:25

※ バスのデザイン・車種は変更となる場合があります。

令和 7 年 7 月 1 日改正

お問い合わせ **みなと観光バス(株)** ☎0799-36-3081 ※全日5時～17時

※観光庁・オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業

オニオンバスでGO!!

東京羽田から淡路島南あわじ市まで2時間!!

Onion bus 5050

羽田空港 1時間20分 → 徳島空港 40分 → 淡路島



ビジネスや観光がさらに便利に!



淡路島(南あわじ市) → 徳島 → 東京(羽田)、福岡

運行会社	徳島空港線(バス)				飛行機		
	福良	陸の港西淡	淡路島南IC	徳島空港	出発	到着	便名
みなと観光バス	5:35	5:50	6:05	6:30	7:05	8:20	JAL452
淡路交通	9:20	9:35	9:50	10:15	8:55	10:10	JAL454
みなと観光バス	10:00	10:15	10:30	10:55	10:55	12:10	ANA282
淡路交通	13:00	13:15	13:30	13:55	11:30	12:35	JAL3564
みなと観光バス	13:45	14:00	14:15	14:40	12:15	13:30	JAL456
淡路交通	16:00	16:15	16:30	16:55	14:50	16:10	JAL460
みなと観光バス	17:50	18:05	18:20	18:45	15:25	16:45	ANA284
淡路交通	18:25	18:40	18:55	19:20	17:35	18:55	JAL462
					19:20	20:40	ANA286
					20:05	21:15	JAL3568
					20:20	21:40	JAL464

東京(羽田)、福岡 → 徳島 → 淡路島(南あわじ市)

出発	到着	便名	徳島空港線(バス)				運行会社
			徳島空港	淡路島南IC	陸の港西淡	福良	
7:00	8:15	JAL453	8:30	8:55	9:10	9:25	みなと観光バス
8:55	10:10	ANA281	10:30	10:55	11:10	11:25	淡路交通
9:55	10:55	JAL3563	11:45	12:10	12:25	12:40	みなと観光バス
10:15	11:30	JAL455					
12:45	14:00	JAL459	14:15	14:40	14:55	15:10	淡路交通
13:30	14:45	ANA283	15:00	15:25	15:40	15:55	みなと観光バス
15:45	16:55	JAL461	17:15	17:40	17:55	18:10	淡路交通
17:25	18:40	ANA285	19:00	19:25	19:40	19:55	みなと観光バス
18:25	19:25	JAL3567	19:55	20:20	20:35	20:50	淡路交通
18:25	19:35	JAL463					
19:45	20:55	JAL465					

注) 淡路島(南あわじ市)行きは、飛行機の到着を待って発車いたします。
 ただし、到着便が大幅に遅延した場合はご利用いただけない場合もあります。
 満席の場合は、次の時刻の便をご利用ください。
 ※観光庁・オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業

完全予約制

ご予約のないお客様は乗車できません。
 運行時刻は、航空便にあわせて変わります。
 最新のオニオンバス運行時刻表は、WEBサイトよりご確認くださいませ。



運賃表

※()内は小人運賃 ※単位:円

	淡路島南IC	陸の港西淡	福良
徳島空港	1,200 (600)	1,400 (700)	1,400 (700)

※淡路島島内での乗降はできません。
 ※障がい者割引について
 手帳をご提示いただけますと、片道運賃から50%割引いたします。(10円単位に四捨五入)
 また、当社が介護人が必要であると判断した場合同一区間をご乗車の1名様に限り片道運賃から50%割引いたします。(10円単位に四捨五入)

完全予約制

予約開始は運行日の2か月前よりご予約できます。
 予約締切は乗車日の3日前23時59分となります。
 WEBサイト、もしくはお電話でご予約ください。

WEB予約



オニオンバス予約サイト
<https://onion-bus5050.com/>

電話予約先

淡路交通 ☎ 0799-22-3121
 予約可能時間: 平日 8:30~17:30
 みなと観光バス ☎ 0799-36-3081
 予約可能時間: 全日 5:00~17:00
 陸の港西淡 ☎ 0799-36-4422
 予約可能時間: 全日 9:00~17:00

令和7年7月1日改正



子育ての喜びが みえるまち

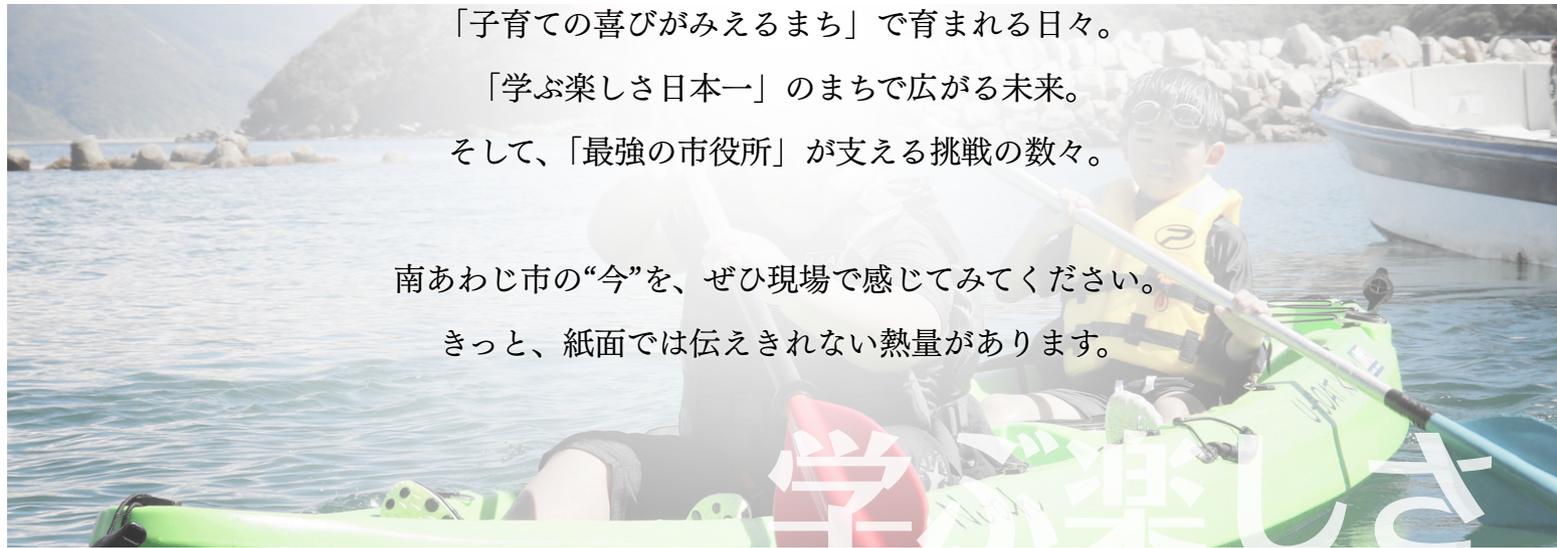


南あわじ市の“今”に、会いに来てください

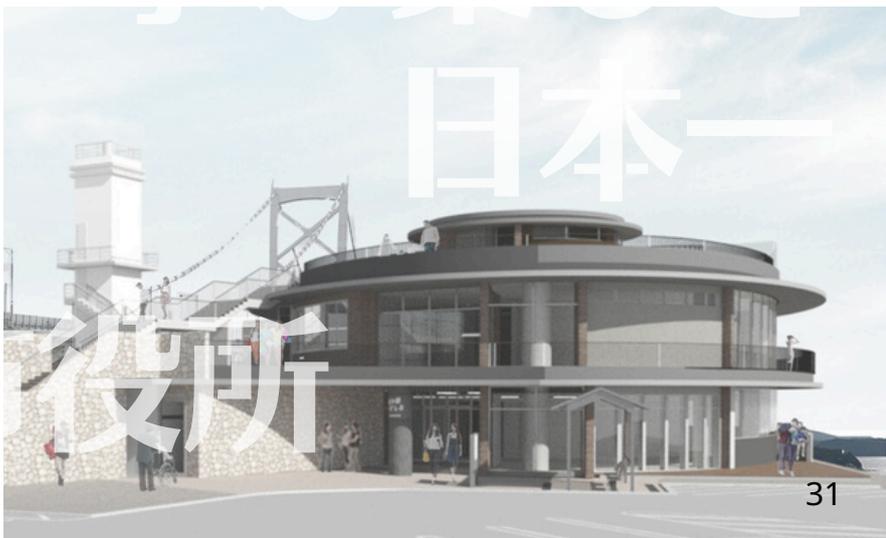
この一冊には、南あわじ市の“今”を詰め込みました。

「子育ての喜びがみえるまち」で育まれる日々。
「学ぶ楽しさ日本一」のまちで広がる未来。
そして、「最強の市役所」が支える挑戦の数々。

南あわじ市の“今”を、ぜひ現場で感じてみてください。
きっと、紙面では伝えきれない熱量があります。



学ぶ楽しさ



最強の市役所

快拳 南あわじ市の取り組みが「GenAI HR Awards 2025」でグランプリ

受賞を喜ぶ市職員ら



兵庫県南あわじ市が、生成AIの社会実装を推進する全国的な表彰制度「GenAI HR Awards 2025」において、公共セクター部門の唯一のファイナリストに選出され、グランプリを受賞した。自治体による自走型DXの取り組みが高く評価された形だ。

同市は、外部委託や専門人材の採用に頼らず、職員自らがPythonや生成AIを習得し、AI検索システム「Moribot」や多言語対応のごみ分別アプリ「わかるんです♪」などを独自開発。業務効率化と市民サービスの向上を両立させる「DX人材育成プロジェクト」を推進してきた。

審査では、技術的な壁を乗り越えた内製化の実現、職員の成長実感を伴う組織文化の醸成、そして年間2,800時間以上の業務削減という定量的成果が高く評価された。特に、現場発のアイデアを迅速に形にする「自走型チーム」の存在が、自治体の枠を超えた革新性として注目を集めた。

今回の受賞により、南あわじ市は10月9日に千葉で開催される「NexTech Week 2025」内の表彰式にて、公共セクター代表としてプレゼンテーションを行う予定。市担当者は「挑戦する文化が根付き始めている。この受賞を機に、さらに地域に根ざしたDXを加速させたい」と語る。

地方自治体の限界を超える挑戦が、全国の注目を集めている。

(取り組みの詳細は16ページをご覧ください)

キーワードは「一」 **番外編**

キーワードは「市」!?

市が3つ!?! 思わず二度見する住所「南あわじ市市市」の謎



南あわじ市に、まるで暗号のような住所が存在することをご存知でしょうか。

その名も「南あわじ市市市（みなみあわじし いちいち）」。

初めて見た方は、まず間違いなく誤植を疑うことでしょう。しかし、これは正真正銘、実在する地名なのです。

この珍しい地名の由来は、歴史的な市町村合併にあります。かつてこの地にあった「市村（いちむら）」が、平成の大合併を経て「南あわじ市」の「市（いち）」という地名（大字）になりました。さらにその「市（いち）」の中に「市（いち）」という区画（小字）が存在するため、このような奇跡の文字列が誕生しました。

この不思議な地名をきっかけに、ぜひ南あわじ市の奥深い魅力に触れてみてください。

南あわじ旬だより 秋号 2025年9月

南あわじ市総務企画部ふるさと創生課プロモーション室

担当：高柳・徳田

☎：0799-43-5205

✉：kouhou@city.minamiawaji.hyogo.jp

南あわじ市ホームページ ▶ <https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp>

